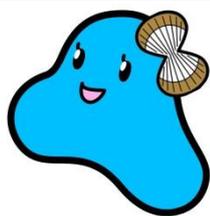


なかうみちゃん通信

2018年8・9月 第3号



今年度3月より開

始したソーシャルデザイン勉強会。全10回にわたって当法人の熊谷理事長にご教示いただきながらソーシャルデザインについて学んできました。勉強会を通して学んだことはここに書ききれませんが、今後実践していくことで自分のものにしていきたいと思

います。

回を追うごとに様々な立場・業種の方が参加してくださり、一つの内容で多様な視点や経験からのご意見を聞くことができ、視野が広がりました。みなさんが参加いただきありがとうございました。この会の終了を惜しむ声もありますが、今後は「まち i (アイ) テラス (M iT)」として当法人の理事・監事のお話が聞ける機会を設けますので、(裏面にお知らせ有) 今後皆様のご参加をお待ちしております！(中瀆)

【ご参加いただいた方々の声】 皆さんご参加ありがとうございました！

理事長とは、10年程前、コミュニティデザインナーの山崎亮氏をお呼びしたセミナーで、パネラーをお願いしたことが縁です。その時に気さくな人柄、絶やぬ笑顔、速いテンポのしゃべり、広く深い教養に触れたのでした。今回は理事長として、ソーシャルデザインの先端的性、裾野の広い見方・捉え方を期待以上の切れ味で伝授していただきました。オリジナルテキストも使い、正に星5つでした。(一般参加・太田さま)

ソーシャルデザイン勉強会 全10回を終えて

ソーシャルデザインとは？概念的に漠然と理解していた(つもり笑)時に、勉強会を実施すること。早々に参加申込をしました。毎回テキストを基に、熊谷理事長の解説で全10回に参加しました。毎回副読本を交えての話は、理解促進に役立ちました。独学では理解しがたいことを考えると、みんなて学習するメリットがあります。今後、理事の方々を中心に「まち i (アイ) テラス」が開催されるようですが、皆さんもこういう機会をぜひ利用してください。(正会員・堀江さま)



昨日の勉強会は、その内容も大変興味深く拝聴しましたが、(できれば最初から参加したかった!) それ以上に、熊谷理事長の若いスタッフを育てたいという意気込みみみたりというものが感じられて、人材育成の面でも勉強になりました。(一般参加・勝部さま)

平成30年7月
西日本豪雨
認定NPO法人の役割とは

8月13日(19日)、広島県安芸郡坂町小屋浦(あきぐんさかまちこやうら)で「ろうきん災害支援助成金」を活用し、仮設トイレの掃除や段ポールベッドの設置、傾聴などのボランティア活動をさせて頂きました。被災地での宿泊は、マツダトレーニングセンター 鯛尾(たいび)をご厚意で利用し、兵庫県立大学院減災復興政策研究所の学生さんと行動を共にし、防災研究の第一人者である室崎益輝(むろさきよしてる)教授にもソフト面での女性の感性の重要性や、SNS等と日常でのコミュニケーションでの情報発信、伝え方の使い分けなどご教授いただきました。現場ではいろいろな価値観の方が全国から集まっておられる新しいコミュニティも生まれやすい場だと感じました。私自身今後の活動に生かしていきたいご縁をいただきました。災害時には様々な面で迅速な行動が求められます。もし被災地になったらと考えた時に、当法人でも認定NPO法人の役割(寄付受入・ボランティア受入)等でゆるいネットワークを通じて対応することができないかと考えました。(小倉)



安芸郡
坂町小屋浦



広島県



中学生がセンター訪問!

国井副理事長による水草講座

9月14日金曜日、松江市立第三中学校の1年生5人が、総合的な学習の時間の一環(※)でセンターを訪問し、当法人の国井副理事長に水草に関する疑問を聞きに来てくれました。

国井副理事長からは、水草とは?から外来種についてまで、様々なこととお話いただきました。中学生たちは「一番よくない外来種は何ですか?」等、疑問に感じたことを素直に質問してくれました。(私も勉強になりました!)これをきっかけに自然再生センターの活動のこと、天神川、中海・宍道湖のことに興味を持って、自らも活動に参加してくれるようになって欲しいです。(中瀆)

※松江市立第三中学校の総合的な学習の時間では『松江「キラリ☆」発見!』松江の街・人の魅力を探ろう』をテーマに、松江の未来について考える学習を行っているそうです。

猛暑を乗り越えて

大根島のオゴノリ畑栽培記録

これまでの通信でもお知らせしておりました、「オゴノリ」を使用した農作物栽培。今年の猛暑には大変苦戦しました。7月から約1か月、ほとんど雨が降らず、乾燥に弱い里芋は7月から中々成長せず:最終手段としてタンクに水を汲み、ポンプで一株ずつ灌水をしていくことに。9月に入り、雨が続いた後、試し掘りをしてみたところ、小さな芋がコロコロと:一時期は葉っぱが茶色く、枯れかけていました。ところが、そこらなにか持ち直してくれました!涙。今年、ベテランの農家さんも苦労されるくらいに猛暑だったそう。また、今年は私の人生の中で最も土に触れた夏でした。暑さや日焼けには困りましたが、早朝の大根島の空気の冷たさや朝焼け、土のにおいやセミの鳴き声:夏のフルコースを味わった気分です!

畑はあと残すところ収穫のみ。またイベント等開催する予定です。詳細が決まり次第お知らせいたしますので、みなさまぜひご参加ください! (中瀆)



第1回まちiセミナー 『自然再生センターのSDGs的役割』

「まちiテラス」は当法人の理事・監事が、地域の皆様に向けて自身の活動やセンターとの関わりを発信しつつ、交流を深めようという趣旨のもとにこの度新しく始めた企画です!
今回のキーワードは『SDGs(持続可能な開発目標)』!

今後は環境保全のみならず、「教育」「ソーシャルデザイン」など、他分野にわたる理事の話をお聞きいただける機会となっております。

お誘いあわせの上、ぜひお立ち寄りください!

日時:10月5日(金) 18:00~19:00

場所:自然再生センター事務局(松江市天神町114)

講師:松本一郎氏(当法人監事)

島根大学大学院教育研究科教授

教職大学院専攻長 教育学部福学部長

参加費:無料(お気持ちを頂ければ幸いです)

事前申込:不要

★フェイスブックイベントページもあります!

この後
理事会です

今回は
国井秀伸理事による
「宍道湖の水草について
(仮)」です!

助成金獲得セミナー

『ねえねえ、教えて!助成金を得るコツってあるの?』

全国的な企業はどんな団体に助成金をだしているの?どんな団体が助成を受けているの?「倍率が高くて私たちには無理」「申請書を書くのが難しそう」そんな悩みをお持ちの方必見!実際に助成を出した側、受けた側の双方の視点の話を聞いてみませんか?

日時:11月1日(木) 13:30~17:00(受付開始13:00)

場所:自然再生センター事務局(松江市天神町114)

ゲスト:小野弘人氏(一財)セブン-イレブン記念財団

地域活動支援事業マネージャー)

佐々木豊志氏(青森大学総合経営学部教授

/ (一社)日本環境NPOネットワーク代表)

参加費:一般1,500円(センター正会員1,000円)

対象:NPO、市民活動に関心のある方、行政、企業等30名程度

事前申込:要⇒センターホームページの入力フォーム又は事務局

までご連絡ください。

★詳細はホームページ上のチラシ、又はフェイスブックをご覧ください!

『中海・宍道湖の食を広めよう会』

恒例の食の会11月開催です!

日時:11月1日(木) 18:00~ 場所:自然再生センター事務局(松江市天神町114)

メイン食材:ズズキ、イイダコ、エノハ※変更する可能性があります。

参加費:2,700円持ち物:my皿、myお椀、my箸

事前申込:要(締切:10月18日(木)17:00)⇒センターHPの入力フォーム又は事務局までご連絡ください。

※好評につき、定員になり次第締め切らせていただきます。誠に恐縮ではございますが、飛び入り参加はお断りさせていただきますので、参加ご希望の方は必ずお申し込みください。

※食の会に参加されたことのない方を優先させていただきますので、申し込まれた方でもお断りさせていただく場合がございます。ご了承くださいませ。

【事務局連絡先】認定NPO法人自然再生センター 〒690-0064 島根県松江市天神町114

TEL:0852-21-4882 FAX:0852-61-0900 /E-mail:info@sizen-saisei.org